



No Bottles or Cans
ビール、缶飲料の持ち込み禁止



No Fireworks, Smoke, Candles or Torii
花火、煙草、ろうそく、提灯の持ち込み禁止



No Throwing
ボール、ゴミなどの投げ込み禁止



No Jumping Down to the Field
フィールドへの飛び降り禁止



No Violence
暴力行為の禁止

AFC Champions League 2018
Play-off
2018.01.30 TUE

VS

ムアントン・ユナイテッド



チカラをひとつに。
- TEAM AS ONE -



柏から世界へ

今季の行方を左右する重要な一戦 勝って世界への扉を開ける!!

今季のレイソルは、さらなる高みを目指すべく11名の新戦力を加えた。大宮アルディージャからMF江坂任、FW瀬川祐輔、アルビレックス新潟からMF小泉慶、FW山崎亮平、横浜F・マリノスからDFバク・ジョンズ、アビスパ福岡からDF亀川諒史、そしてアカデミーから昇格した4人のルーキーである。1月11日からスタートした指宿市キャンプでは、新戦力たちはスムーズにフィットしていった。1月23日に行われた鹿屋体育大との練習試合にて12得点

を奪ったことから分かったとおり、チームはここまで順調な仕上がりを見せている。

迎えた今回のACLプレーオフ、相手はタイのムアントンである。昨年のACLでは鹿島アントラーズ、蔚山現代（韓国）に土をつけ、ラウンド16へ進出。サンフレッチェ広島加入内定のFWティーラシン、かつてベガルタ仙台でプレーしたMFヘベルチ、ヴィッセル神戸加入内定のタイ代表DFティーラトン、日本人DF青山直晃というタレントを擁する力のあるチームだ。「攻撃のタレ

ントがいて、シンプルに良いチームという印象。コンディションも良さそうだった」と大谷秀和が語るとおりカウンターに迫力があるため、レイソルが攻め込む展開が予想される中でも、ボールを奪われた瞬間のトランジションとリスクマネジメントは徹底したい。

とにかくこの試合に限って重要視しなければならないのは内容よりも結果だ。2018年シーズン初の公式戦にして、今年1年を占う大一番。必ず勝って、ACL本戦への扉を開く。

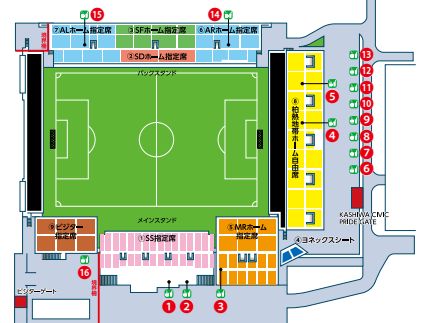
ハタメグミの
お絵かき
日立台

来ましたこの日、待ちましたプレーオフ...!
絶対いくぞACL本選!!
今日はそれ以外に言うことなしです。
燃えてます! 柏から世界へ★



食べ尽くせ 日立台グルメ

- ①鳥よし（カレー など）②ローソン（おにぎり など）③ブラウンシュガー（焼きそば など）④日京クリエイト（レイソル勝つサンド など）⑤ローソン（おにぎり など）⑥Labo Café×E・S・A（プルたま丼 など）⑦ITSブラジリアンバーベキュー（レイソル勝つドッグ など）⑧ボンベ×日立台カレーぶ（レイソルカレー など）⑨海賊船（たこ焼き など）⑩エフェケパブ（ドネルケパブ など）⑪ブラウンシュガー（ステーキプレート など）⑫日京クリエイト（餃子ドッグ など）⑬侍（もつ煮込み など）⑭ローソン（おにぎり など）⑮ドミノピザ（ピザ各種 など）⑯D&C（チーズドッグ など）



柏レイソル VS ムアントン・ユナイテッド

KASHIWA Reysol

[監督] 下平 隆宏 Takahiro SHIMOTAIRA

1	GK	桐畑 和繁	Kazushige KIRIHATA
2	DF	鎌田 次郎	Jiro KAMATA
3	DF	ユン ソギョン	YUN Suk-Young
4	DF	中谷 進之介	Shinnosuke NAKATANI
5	DF	中山 雄太	Yuta NAKAYAMA
7	MF	大谷 秀和	Hidekazu OTANI
8	MF	小泉 慶	Kei KOIZUMI
9	FW	クリスティアーノ	CRISTIANO
10	MF	江坂 任	Ataru ESAKA
11	FW	山崎 亮平	Ryohei YAMAZAKI
13	DF	小池 龍太	Ryuta KOIKE
14	FW	伊東 純也	Junya ITO
15	MF	キム ボギョン	KIM Bo-Kyung
16	GK	滝本 晴彦	Haruhiko TAKIMOTO
17	MF	手塚 康平	Kohei TEZUKA
18	FW	瀬川 祐輔	Yusuke SEGAWA
19	MF	中川 寛斗	Hiroto NAKAGAWA
20	FW	ハモン ロペス	RAMON LOPES De Freitas
21	GK	猿田 遥己	Haruki SARUTA
22	DF	バク ジョンス	PARK Jeongsu
23	GK	中村 航輔	Kosuke NAKAMURA
24	DF	宮本 駿晃	Toshiaki MIYAMOTO
25	MF	田中 陸	Riku TANAKA
26	DF	古賀 太陽	Taiyo KOGA
27	DF	今井 智基	Tomoki IMAI
28	MF	栗澤 僚一	Ryoichi KURISAWA
29	DF	中川 創	Sou NAKAGAWA
30	MF	澤 昌克	Masakatsu SAWA
37	MF	細貝 萌	Hajime HOSOGAI
39	DF	亀川 諒史	Masashi KAMEKAWA

※出場停止:なし

Staff

ヘッドコーチ/加藤 望 Nozomu KATO

コーチ/岩瀬 健 Ken IWASE

フィジカルコーチ/松原 直哉 Naoya MATSUBARA

GKコーチ/松本 拓也 Takuya MATSUMOTO

2018.01.30 TUE 日立柏サッカー場

19:00 KICK OFF

マッチコミッショナー:ケメル・トカバエフ (キルギス)

アセッサー:エドワード・レニー (オーストラリア)

主審:アンマル・アルジネイビ (UAE)

副審:アハメド・アルラシュディ (UAE)、サイド・カマル (UAE)

第4の審判:ヤコブ・アルハンマディ (UAE)

予想スターティングメンバー



SCG MUANGTHONG UNITED

[監督] トチタワン・シーバーン TOTCHTAWAN SRIPAN

1	GK	カンポン・パトマックカク	KAMPON PHATOMAKKAKUL
2	DF	ペレパット・ノテチャイヤ	PEREPAT NOTECHAIIYA
3	DF	ティーラトン・ブンマタン	THEERATHON BUNMATHA
4	DF	スポーン・ピーナガタポー	SUPORN PEENAGATAPHO
6	MF	サラ・ユーエン	SARACH YOOYEN
7	MF	ヘベルチ	HEBERTY FERNANDES DE ANDRADE
8	MF	トーサワット・リンワナサティアン	THOSSAWAT LIMWANASATHIAN
9	FW	アディサク・クライソーン	ADISAK KRAISORN
10	FW	ティーラシン・デーンダー	TEERASIL DANGDA
13	MF	ラッチャポン・ナワンノ	RATCHAPOL NAWANNO
14	MF	ソラウィット・パントーン	SORAWIT PANTHONG
15	DF	イ・ホ (李浩)	LEE HO
16	MF	サヌクラン・ティンジョム	SANUKRAN THINJOM
19	DF	トリスταν・ドウ	TRISTAN DO
21	MF	プラキット・ディープロム	PRAKIT DEEPROM
22	FW	チェンロップ・サンパオディ	CHENROP SAMPHAODI
23	MF	チャリン・ヤンニック・チャプイ	CHARYL YANNIC CHAPPUIS
25	DF	アディソン・プロムラク	ADISON PROMRAK
26	GK	ソンポン・ヨ	SOMPORN YOS
28	GK	プラシット・パドゥン・チョック	PRASIT PHADUNGCHOK
29	DF	セリオ・サントス	CELIO SANTOS
32	DF	イサリヤ・マロム	ISARIYA MAROM
34	MF	ワッタナ・ブライヌム	WATTANA PLAYNUM
35	FW	シロー・チャットーン	SIROD CHATTHONG
39	GK	スティポン・ピサンスブ	SUTHIPONG PISANSUB
50	FW	ジャジャ・コエリョ	JAJA COELHO
59	DF	スクールキット・クルヤイ	NUKOOKIT KRUTYAI

※出場停止:なし



Stop the Key Player

タイ代表として国際Aマッチ42試合出場19得点の数字を残し、タイリーグ得点王の獲得経験もあるストライカーである。出場機会はなかったもののイングランドのマンチェスター・シティをはじめ、スイスのグラスホッパー、スペインのアルメリアなど海外クラブでプレーした実績があり、2018年シーズンよりサンフレッチェ広島への期限付き移籍が発表された。決定力、ドリブル、パス、いずれも高水準のレベルを携えた危険な選手だ。

ムアントン・ユナイテッド
10FW ティーラシン

SCG ムアントン・ユナイテッドFC

<http://www.mtutd.tv/>

1989年に創設されたTPL (タイ・プレミアリーグ) きての人気クラブで、バンコクのすぐ北に隣接したノンタブリー県ムアントンタニをホームとする。エンブレムに描かれている動物はキリンで、選手は「キリン戦士 (KIRIN WARRIORS)」と呼ばれているという。

今プレーオフ後には10番のティーラシン・デーンダーが広島に、3番のティラトン・ブンマタンが神戸に移籍することが決まっているほか、大宮アルディージャでプレーした経歴を持つ元韓国代表のイ・ホ (李浩) 選手も在籍するなど、Jリーグに縁のある選手も所属している。



9FW
CRISTIANO

クリスティアーノ

——今年は例年より早い始動となりました。現在のコンディションはいかがですか？

「今回は2週間ぐらいしかオフがありませんでしたが、それによってフィジカル的には良いコンディションを保っています。キャンプを通してさらに上げてもらっていますし、新加入選手も入って、我々がどういうサッカーをしていくのかも共有ができました。その成果をキャンプ中の練習試合では見せることができ、30日のプレーオフに向けて良い準備ができています」

——指宿キャンプの練習試合では12得点を奪いました。相手が大学生だったとはいえ、非常に良い状態だという印象を受けました。

「得点数や練習試合で勝ったということ以上に、あの試合では何ができたかということが大切でしたし、内容的には非常に良い試合ができたと思います。プレーオフではあれ以上の内容を発揮できるかで、今季の今後を占うと思います。個人的にもやるべきことをしっかりやって、チームに貢献していければと思います」

——新加入選手たちの印象は？

「各選手のクオリティーはすごく高いものがあるというのは、練習や試合を通して感じる事ができました。大切なのはそれを公式戦で出せるかです。自分としては彼らが最高のパフォーマンスを出せるように、助けていきたいですし、コンビネーションも良いものを出して、持っているクオリティーをさらに高めて勝利につなげられればと思います」

——クリスティアーノ選手は江坂任選手と前線でコンビを組みました。すでに良いコンビネーションを発揮しています。

「短い期間だったわりには良いコンビネーションを築けたと思います。彼は高いクオリティーを持った選手で、しかも頭が良い選手です。現状で満足せず、進化していかなければ勝てない相手も多いと思うので、そのコンビネーションを試合で出せるようにしたいです」

——3年前もレイソルはACLプレーオフを戦い、内容的にはレイソルが圧倒しましたが、試合は延長戦までもつれ込みました。難しさのあった試合だったのでは？

「おそらく3年前の試合は、シュート数では相当上回りましたが、それを得点に結び付けられず、延長戦の末に3対2で勝った試合だったと記憶しています。確かに内容ではレイソルが圧倒しました。でも最終的な結果はギリギリの勝利だったので、今回の試合に関しても難しい試合になるでしょう。そこでは得点をする事で落ち着き、自分たちのペースで試合を運べるので、3年前の教訓を生かしてやっていきたいと思います」

——あの試合はクリスティアーノ選手にとってはレイソルでのデビュー戦でした。しかし今は4年目を迎え、個人的には落ち着いて迎えられるのではないですか？

「3年前は自分のデビュー戦だったので、かなりのプレッシャーと緊張感があった試合でした。しかも負けたら終わり、ACLにも出場できない。その緊張感もあって落ち着きを失ってしまった部分はあったと思います。その中でも良いプレーができた部分もありましたし、個人的には評価できるプレーだったと思うので、今回は立場が変わりますが、やるべきことをしっかりやって結果に

結びつける。そして今回の試合ではレイソルで初めてプレーする選手もいますから、今度は彼らに落ち着きを与えられるように努めていきたい」

——この試合に勝てばACL本戦へ進みます。クリスティアーノ選手はACLにはどのような思いを抱いていますか？

「前回のACLはベスト8で終わってしまったので、あの時の悔しい思いがあります。広州恒大にホームで負けてしまいましたが、逆にアウェイで戦った試合では自分たちの力を見せることができたと思います。何よりACLではアジアの強豪が集まった中で、自分たちがどれだけの力があるのか、どの位置にいるのかを測る良い材料になりますし、ACL優勝は自分の目標の一つでもあります。今回のプレーオフは今年の第1戦ですが、どちらかという去年の自分たちがやってきたことがこの一戦に懸かっているので、大勢の人たちの思いを背負って戦うつもりです。自分にとってどれだけ大事な試合なのかを見つめ直し、30日の試合に臨み、勝って、その後ACL本戦について考えたいと思います」

——サポーターへメッセージをお願いします。

「いつも言っていることですが、グラウンドに立ったときに、自分のチャントを聴くといつも鳥肌が立ちます。それによって選手も、スタッフも、いかにサポーターの力が必要かを学びますし、皆さんの応援があってこそ選手はそれぞれのポジションで良い仕事ができ、それが結果に結びついてきます。今回のプレーオフも同じです。ぜひスタジアムに来ていただいて、みんなで勝利をつかみ、試合が終わった後に盛大なフェスタをしましょう！」

3年前の教訓を生かせ

ー昨年のACLプレーオフではFC東京が9-0でチョンブリ(タイ)を一蹴し、昨年はガンバ大阪がジョホールバル・ダルル・タクジム(マレーシア)に対し3-0で快勝を収めた。この結果を一目見ると、対戦相手はJリーグ勢との明確な実力差があり、今回のレイソルも苦勞せずにACL本戦行きの切符を手にするのではないかと楽観視してしまうがプレーオフは簡単な一戦ではない。その難しさは我々がよく知っている。

2015年2月17日。3年前にもレイソルはタイのチョンブリとACLプレーオフを戦った。開始8分に武富孝介の先制点が生まれ、優位に試合を運ぶかと思われたが、その2分後に1本のシンプルなロングフィードから同点を許し、58分にもレアンドロのPKで再びリードを奪うも、直後の65分には簡単にサイドを振られた挙句、寄せの甘さもあって2-2に追いつかれている。

ACLプレーオフの難しさのひとつは、シーズン最初の公式戦ということで、90分間(3年前は最終的に120分だったが)戦う集中力の問題が挙げられる。以下は、当時の大谷秀和の言葉だ。

「失点場面以外はあまり大きなピンチはなかったと思うので、決して気が抜けたとは思わないですが、ちょっとバランスが良くなかった。初の公式戦なので、疲労から重くなってきた選手もいたし、単発で終わって

てちょっともったいない簡単なミスが出てきた」

確かに2失点の場面以外は大きなピンチはなかった。だが、2つのピンチであっさり失点してしまうあたりは集中力の欠如が感じられ、ともに自分たちが得点を決めた後だけに、フツと緊張の糸が緩んだ部分も否めなかった。3年前の試合は、今年より準備期間が長く、1次キャンプはグアム、2次キャンプは指宿と、2度のキャンプを経て調整を入念に行い、当時の吉田達磨監督も「非常に良い仕上がりと」試合前には手応えを見せていたにも関わらずに、だ。

そして、当時のプレーオフを難しくしてしまった最大の原因は、最後のフィニッシュの質である。なにしろレイソルは、試合を通じて47本のシュートを放ち、その大半が決定的なチャンスだったが、無情にもシュートはことごとく枠を逸れていき、スタンドからの歓声は溜息に変わる場面が多かった。おそらくあの決定機をモノにしてさえいれば、一昨年のFC東京、昨年のガンバ同様、レイソルがワンサイドゲームに持ち込めた可能性は高勝ただろう。しかしあれだけの決定機を外し、少ないピンチで簡単に失点をしては難しい試

合になるのは当然である。延長後半にレアンドロの得点で勝ち切ったが、終始ヒヤリとさせられた試合だった。

ただ、3年前との決定的な違いがある。当時はネルシーニョ監督が退任し、吉田監督が就任して最初の試合。しかも戦術が大きく切り替わり、プレーオフを戦う環境を含めて何もかもが初めての経験の中で迎えた一戦だった。実際に、チョンブリ戦に出場したクリスティアーノも「3年前は自分のデビュー戦だったので、かなりのプレッシャーと緊張感があった試合だった。その緊張感で落ち着きを失ってしまった部分はあった」と3年前の心境を口にしている。そういう点においては、2016年以降、レイソルは下平隆宏監督の下で継続したチームづくりを進め、成熟度では明らかに3年前を上回る。

どんなに泥臭くてもいい。オウンゴールによる1点差勝ちでも構わない。3年前の教訓を生かしつつ、現在のレイソルの底力を発揮して、必ずアジアへの切符をつかみ取る。

Profile/鈴木 潤 JUN SUZUKI
レイソルを中心に国内ユース年代から海外サッカーなどを取材。日々の取材を発信するHP「柏フットボールジャーナル」も運営。



Reysol Report

サッカーを愛する皆様へ

Jリーグ及び柏レイソルでは、安全で快適な試合観戦環境をご提供するため、「試合運営管理規程」に基づいて試合の安全管理とセキュリティを行っております。ご観戦の際は、柏レイソル公式HPや各入場ゲート付近に掲出してある「試合運営管理規程」を遵守していただき、試合の雰囲気を盛り上げるようなフェアな応援をお願いいたします。観戦ルールやマナーを守っていただくことで「安全で快適なスタジアム」は実現できると考えております。皆様のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。また地震が多発している状況を受け、当クラブでは安全対策の強化に取り組んでいます。試合前、試合中に大きな揺れを感じた場合はあわてて出口や通路、階段に殺到しないようし、身をかがめる、頭を保護するなど身の安全を確保してください。なお、試合中に緊急地震速報が発表された場合、一時試合を中断いたします。場内アナウンスの指示に従って落ち着いて行動していただきますようお願いいたします。

KASHIWA REYSOL 2018 Game Schedule

明治安田生命Jリーグディビジョン1

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ
1	2月25日(日)	13:00	ベガルタ仙台	ユアスタ	A
2	3月2日(金)*1	19:30	横浜F・マリノス	三協F柏	H
3	3月10日(土)	15:00	セレッソ大阪	三協F柏	H
4	3月18日(日)	15:00	ガンバ大阪	吹田S	A
5	3月30日(金)*2	19:30	ヴィッセル神戸	三協F柏	H
6	4月8日(日)*3	15:00	サンフレッチェ広島	三協F柏	H
7	4月11日(水)	20:00	サガン鳥栖	ベアスタ	A
8	4月14日(土)*4	14:00	北海道コンサドーレ札幌	三協F柏	H
9	4月22日(日)	16:00	V・ファーレン長崎	トラスタ	A
10	4月25日(水)	19:00	浦和レッズ	三協F柏	H
11	4月28日(土)	14:00	清水エスパルス	アイスタ	A
12	5月2日(水)	19:00	湘南ベルマーレ	BMWスタ	A
13	5月5日(土・祝)*5	14:00	ジュビロ磐田	三協F柏	H
14	5月12日(土) or 7月25日(水)*6	15:00	川崎フロンターレ	三協F柏	H
15	5月20日(日)	14:00	名古屋グランパス	豊田スタ	A
16	7月18日(水)	19:00	FC東京	三協F柏	H
17	7月22日(日)	18:30	鹿島アントラーズ	カシマ	A

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ
18	7月28日(土)	19:00	ヴィッセル神戸	ノエスタ	A
19	8月1日(水)	19:30	湘南ベルマーレ	三協F柏	H
20	8月5日(日)	14:00	北海道コンサドーレ札幌	札幌ド	A
21	8月11日(土・祝)	19:00	ベガルタ仙台	三協F柏	H
22	8月15日(水)	19:00	FC東京	味スタ	A
23	8月19日(日)	19:00	ジュビロ磐田	ヤマハ	A
24	8月25日(土)*7	19:00	V・ファーレン長崎	三協F柏	H
25	9月1日(土) or 9月2日(日) 未定		横浜F・マリノス	日産スタ	A
26	9月15日(土) or 9月16日(日)*8	未定	清水エスパルス	三協F柏	H
27	9月22日(土) or 9月23日(日・祝) 未定		サガン鳥栖	三協F柏	H
28	9月29日(土) or 9月30日(日) 未定		浦和レッズ	埼玉スタ	A
29	10月6日(土) or 10月7日(日) 未定		サンフレッチェ広島	Eスタ	A
30	10月19日(金)	未定	名古屋グランパス	三協F柏	H
31	11月3日(土・祝) or 11月4日(日)*9	未定	川崎フロンターレ	等々力	A
32	11月10日(土)*10	未定	鹿島アントラーズ	三協F柏	H
33	11月24日(土)	未定	セレッソ大阪	ヤンマー	A
34	12月1日(土)	未定	ガンバ大阪	三協F柏	H

*1 柏がAFCチャンピオンズリーグ2018プレーオフに敗れた場合、3月3日(土) 15:00に変更となります。*2 柏がAFCチャンピオンズリーグ2018プレーオフに敗れた場合、3月31日(土) 15:00に変更となります。*3 柏がAFCチャンピオンズリーグ2018プレーオフに敗れた場合、同日5月5日(土・祝) 15:00に変更となります。*4 柏がAFCチャンピオンズリーグ2018プレーオフに敗れた場合、4月7日(土) 15:00に変更となります。*5 柏がAFCチャンピオンズリーグ2018プレーオフに敗れた場合、同日5月5日(土・祝) 15:00に変更となります。*6 両チームもしくはいずれかのチームがAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出した場合、7月25日(水)に開催。両チームともにAFCチャンピオンズリーグ2018ラウンド16に進出した場合、5月12日(土)に開催となります。*7 柏がAFCチャンピオンズリーグ2018プレーオフに敗れた場合、8月26日(日) 19:00@三協F柏に変更となります。AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が8月24日(金) 19:30@三協F柏に変更となる可能性があります。*8 AFCチャンピオンズリーグ2018において柏が準々決勝に進出した場合、開催日が9月14日(金)に変更となる可能性があります。*9 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が10月31日(水)に変更となる可能性があります。*10 AFCチャンピオンズリーグ2018において出場クラブが決勝に進出した場合、開催日が11月6日(火)もしくは11月7日(水)に変更となる可能性があります。

AFC
チャンピオンズリーグ
2018
グループステージ
グループE
(プレーオフ勝利の場合)

節	日付	時刻	対戦相手	会場	ホーム/アウェイ
1	2月13日(火)	19:30	全北現代モータース(KOR)	全州	A
2	2月20日(火)	19:30	プレーオフ4勝者	日立柏	H
3	3月6日(火)	19:30	傑志FC(HKG)	日立柏	H
4	3月14日(水)	20:00(現地)	傑志FC(HKG)	香港	A
5	4月4日(水)	19:30	全北現代モータース(KOR)	日立柏	H
6	4月18日(水)	未定	プレーオフ4勝者	未定	A